



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

人口減少社会での財政運営は

有効財源を活用し 将来を見据える

問 人口減少により税収が減少する一方、税負担の増加により市民の消費支出が減少し、経済の停滞が懸念される。加えて、日本銀行の金融政策の変更により市債の金利負担の増加が見込まれるなど、市財政は厳しさを増している。今後の財政運営について、どのように認識しているのか。

答 人口減少、特に生産年齢人口の減少による税収減だけではなく、人件費や物価の高騰、社会保障費の増加など、歳出の増加も懸念されることから、今後も国、県の補助金などの有効な財源を活用し、基金の維持確保を図りながら、持続可能な十和田市の将来を見据えた財政運営に努めていきたいと考えています。

問 市の借金である市債残高から貯金である基金残高を差し引いた市民1人当たりの負債額は。

答 市民1人当たり約30万6,000円となります。

算出方法

約329億円(市債残高)－約153億円(基金残高)

＝約176億円※1

約176億円÷5万7,361人(人口)※2÷約306千円

※1 令和5年度決算による

※2 令和6年末の住民基本台帳による

問 将来有権者となる若い人たちに選挙の啓発活動をしているのか。

答 毎年、小学校6年生、中学校3年生、高校3年生に啓発パンフレットを配布しています。また、市内小中学生を対象とした選挙出前講座を実施しており、令和6年度は2校で実施しています。高校生には、県選挙管理委員会で実施している選挙出前講座において模擬投票の協力を行っており、今年度は12月に実施しました。今後も引き続き啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。



斉 藤 重 美
(自民公明クラブ)

市道焼山線桂月橋までの整備状況は

色内橋東側を順次整備

問 市道焼山線の桂月橋までの整備状況は。

答 令和6年度は、色内橋東側の延長約100メートルについて工事を完了しており、令和7年度についても延長約100メートルの工事実施を予定しています。令和8年度以降についても、引き続き整備を進めていきたいと考えています。

問 埼玉県八潮市で下水道管に起因すると考えられる道路の陥没事故が発生したが、下水道管の点検、管理状況は。

答 同事故を受け、腐食のおそれと考えられる圧送管吐き出し先のマンホール内の状態とその周辺の道路等に異常がないか、職員による目視点検を緊急的に実施した結果、異常がないことを確認しホームページなどで安全を周知したところです。

腐食するおそれのある排水施設は、法令により5年に1回以上の点検が義務付けられており、令和7年度に点検を予定していましたが、前倒しで実施しました。今回点検した箇所以外では、下水道管の健全度を把握するために年次計画を立てて調査を実施しており、これまでの点検・調査の結果、異常がないとの報告を受けています。

問 水道検針業務の効率化を図るため、スマートメーターを導入しては。

答 リアルタイムでの使用水量の把握や、人員確保面での課題解決など、様々な面において効果が期待できる一方で、コストや情報セキュリティの問題等が課題として挙げられています。

導入費用を試算した結果、電子メーターの購入費用等が高額で費用対効果が見込めないため、現時点での導入は難しいと考えています。